

①研究の背景

一国あるいは一経済の経済成長は、当該国（あるいは経済）の産業における生産活動によりもたらされる。また、経済発展とともに、産業構造が変化することはよく知られている。日本においても中国においても、大きく産業構造は変化しており、同時に、経済成長率も大きく変化している。本研究では、経済発展の過程で生じる産業構造に着目し、産業構造の変化と経済成長の関係、および産業構造の変化をもたらす要因について研究を行った。日本、中国、インドの3国を対象として、国際比較を行った。

②研究実績・成果

研究代表者（萩原弘子）は、日本、中国、インドに関する産業構造の変化に関するデータ分析を行った。日本については、一国レベルでの産業構造変化の要因分析を行った。中国とインドについては、両国の産業構造変化の差異とそれをもたらす要因についての分析を行った。その結果、3国の産業構造変化には大きな差異があり、それが、需要面の違いからもたらされていることを明らかにした。

共同研究者（辻美代）は、代表者が産業全体の構造を対象としたのと異なり、特定の産業（繊維産業）に焦点を当てて研究を行った。中国における繊維産業の発展の現状を、繊維産業内部における構造変化とそのパフォーマンスから分析し、日本における繊維産業の発展過程と比較した。また、中国の繊維産業の企業である如意集団を取り上げ、当企業内における垂直的な構造を明らかにした。

③今後の展望

本研究では、産業構造変化について、研究代表者による産業全体の構造分析と共同研究者による個別産業の分析を行ったが、主要産業の動向に関するより詳細な分析を行うことにより産業全体の変化についての分析をより掘り下げる予定である。

Hiroko Hagiwara, "A Comparative Analysis of the Industrial Structure of China and India",
Discussion Paper No. 83. Institute for Policy and Social Innovation, 2015.

Hiroko Hagiwara, "Economic Growth and Industrial Structural Change in China",
Chinese Economic Association(Europe/UK) Annual Conference,
The University of Manchester, (peer reviewed) September 2017.

Hiroko Hagiwara, "Capital Accumulation and Economic Growth in China",
Chinese Economic Association(Europe/UK) Annual Conference,
University of Duisburg Essen. Germany, (peer reviewed) September 2016.

辻美代、「中国繊維産業の申し子「如意集団」」、佐々木信彰編著『現代中国の産業と企業』、晃洋書房、2016年。